

栃木県鉱工業指数基準改定の概要

平成 27(2015)年基準

平成 31 年 3 月 26 日

栃木県県民生活部統計課

1 改定の趣旨

鉱工業指数については、「指数の基準時に関する統計基準」（平成 22(2010)年 3 月統計基準設定）において「指数の基準時は、5 年ごとに更新することとし、西暦の年数の末尾が 0 又は 5 である年とする」とされていることから、現行の基準時である平成 22(2010)年から 5 年後の平成 27(2015)年を新たな基準時とし、ウェイトや採用品目、季節調整法について見直しを行った。

2 改定の対象とした指数

平成 27(2015)年基準へ改定を行った指数は、以下の 4 系列である。

- (1) 生産指数（付加価値額ウェイト）
- (2) 出荷指数
- (3) 在庫指数
- (4) 在庫率指数

3 改定の主な内容

(1) 基準時及びウェイト算定年次の変更

指数の基準時及びウェイト算定年次を、平成 22(2010)年から平成 27(2015)年へ変更した。指数値は、平成 27(2015)年の平均を 100.0 とした比率で示される。

(2) 業種分類の一部変更（資料 1）

平成 27(2015)年基準指数の業種分類は、原則として日本標準産業分類（第 13 回改定）（平成 25(2013)年 10 月統計基準設定）に準拠した。

また、業種を代表する採用品目の制約等を踏まえ、「はん用・生産用・業務用機械工業」を「汎用機械工業」「生産用機械工業」「業務用機械工業」へ分割した他、「繊維工業」を「その他工業」に統合するなど、一部組替えを行った。

(3) 採用品目の見直し（資料 2）

国の方法に準拠し、生産・出荷・在庫・在庫率指数の採用品目は、主に「生産動態統計調査」から選定した。業種別に代表性等の観点から品目選定を行うとともに、用途、単価の変動を考慮し、統合・分割などの見直しも行った。また、採用単位についても見直しを実施した。このほか、経済産業省の所管外の品目についても、採用の可否について検討を行った。

採用品目の改廃状況

指数の種類	平成 27 年 基準	平成 22 年 基準	差			
				新規	廃止	統合・分割
生産指数	171	186	▲15	17	▲31	▲1
出荷指数	170	185	▲15	17	▲31	▲1
在庫指数	89	108	▲19	3	▲22	-
在庫率指数	89	108	▲19	3	▲22	-

(4) ウェイトの見直し (資料3)

業種別のウェイトは、製造工業については「経済センサス-活動調査」を基礎データとして、指数の業種分類・概念に適合するよう組替えを行った上で算定した。

また、品目別のウェイトは、「経済センサス-活動調査」や「生産動態統計調査」などにより単価・金額等を推計し、業種別のウェイトを採用品目の金額構成比により按分した。

生産・出荷・在庫指数におけるウェイトが変化した主な業種は、以下のとおり。

ウェイト変化状況 (生産・出荷・在庫指数)

指数の種類	ウェイトが上昇した主な業種	ウェイトが低下した主な業種
生産指数 (付加価値額)	食料品・たばこ工業 (1082.6→1889.2)	情報通信機械工業 (874.5→167.6)
	生産用機械工業 (335.7→607.7)	輸送機械工業 (1916.5→1447.2)
	金属製品工業 (408.2→600.0)	化学工業 (954.8→745.5)
出荷指数	食料品・たばこ工業 (1161.1→1946.2)	情報通信機械工業 (1140.8→214.0)
	生産用機械工業 (369.5→514.2)	輸送機械工業 (2092.9→1854.5)
	金属製品工業 (402.7→513.0)	非鉄金属工業 (495.5→433.8)
在庫指数	電気機械工業 (793.9→1266.2)	情報通信機械工業 (798.5→0)
	食料品・たばこ工業 (513.4→804.9)	プラスチック製品工業 (1349.9→906.8)
	化学工業 (536.5→805.2)	その他工業 (922.5→734.4)

(5) 季節調整法の見直し (資料4)

季節調整法は、米国センサス局の X-12-ARIMA を用いて、ARIMA モデルやオプションの見直しを行った。

平成 27(2015)年基準での主な変更点は、以下のとおり。

ア ARIMA モデルを生産、出荷、在庫、在庫率の系列ごとに設定した。

イ 異常値の検出及び処理を行った。異常値処理を行った種別、年月は以下のとおり。

系列名称	異常値種別	処理年月
生産	TC (一時的変化)	平成 23(2011)年 3月
出荷	TC (一時的変化)	平成 22(2010)年 10月
	TC (一時的変化)	平成 23(2011)年 3月
在庫	TC (一時的変化)	平成 25(2013)年 5月
	AO (加法的外れ値)	平成 26(2014)年 1月
	AO (加法的外れ値)	平成 26(2014)年 8月
在庫率	AO (加法的外れ値)	平成 22(2010)年 10月
	TC (一時的変化)	平成 25(2013)年 5月

4 新基準への切替えと改定結果 (資料5-1、5-2、資料6)

平成 31 年 1 月分月報から平成 27(2015)年基準による指数値に切り替える。過去系列は、平成 25(2013)年 1 月以降について新基準による系列を作成した。

業種分類の新旧比較

平成27(2015)年基準 業種分類		平成22(2010)年基準 業種分類
鉱工業		鉱工業
製造工業		製造工業
鉄鋼業		鉄鋼業
非鉄金属工業		非鉄金属工業
金属製品工業		金属製品工業
汎用機械工業 ←	分割	はん用・生産用・業務用機械工業
生産用機械工業 ←		
業務用機械工業 ←		
電子部品・デバイス工業		電子部品・デバイス工業
電気機械工業		電気機械工業
情報通信機械工業		情報通信機械工業
輸送機械工業		輸送機械工業
窯業・土石製品工業		窯業・土石製品工業
化学工業		化学工業
プラスチック製品工業		プラスチック製品工業
パルプ・紙・紙加工品工業		パルプ・紙・紙加工品工業
食料品・たばこ工業	編入	繊維工業
その他工業		食料品・たばこ工業
繊維工業 ←		その他工業
木材・木製品工業		木材・木製品工業
家具工業		家具工業
印刷業	新設	印刷業
石油・石炭製品工業 ←		
ゴム製品工業		ゴム製品工業
皮革製品工業		皮革製品工業
その他製品工業		その他製品工業
鉱業		鉱業
(参考系列)		
鉄鋼・非鉄金属工業		
機械工業		
汎用・生産用・業務用機械工業		
汎用・業務用機械工業		
電気・情報通信機械工業		

(資料2)

指数採用品目数の新旧比較

業種分類名	生産			出荷			在庫・在庫率		
	平成27 (2015)年	平成22 (2010)年	増減	平成27 (2015)年	平成22 (2010)年	増減	平成27 (2015)年	平成22 (2010)年	増減
鉱工業	171	186	▲15	170	185	▲15	89	108	▲19
製造工業	168	183	▲15	167	182	▲15	86	105	▲19
鉄鋼業	8	8	0	7	7	0	4	6	▲2
非鉄金属工業	9	9	0	9	9	0	6	6	0
金属製品工業	11	12	▲1	11	12	▲1	6	6	0
汎用機械工業	10	10	0	10	10	0	4	4	0
生産用機械工業	11	12	▲1	11	12	▲1	4	4	0
業務用機械工業	6	5	1	6	5	1	4	3	1
電子部品・デバイス工業	7	9	▲2	7	9	▲2	1	3	▲2
電気機械工業	13	14	▲1	13	14	▲1	3	4	▲1
情報通信機械工業	7	10	▲3	7	10	▲3	0	3	▲3
輸送機械工業	9	9	0	9	9	0	2	2	0
窯業・土石製品工業	11	12	▲1	11	12	▲1	9	9	0
化学工業	10	11	▲1	10	11	▲1	8	10	▲2
プラスチック製品工業	10	9	1	10	9	1	7	7	0
パルプ・紙・紙加工品工業	4	5	▲1	4	5	▲1	4	5	▲1
食料品・たばこ工業	25	21	4	25	21	4	12	12	0
その他工業	17	27	▲10	17	27	▲10	12	21	▲9
鉱業	3	3	0	3	3	0	3	3	0

(資料3)

ウェイトの新旧比較

業種	生産			出荷			在庫・在庫率		
	平成22 (2010)年	平成27 (2015)年	差分	平成22 (2010)年	平成27 (2015)年	差分	平成22 (2010)年	平成27 (2015)年	差分
鉱工業	10,000.0	10,000.0	—	10,000.0	10,000.0	—	10,000.0	10,000.0	—
製造工業	9,979.2	9,981.5	2.3	9,986.5	9,988.2	1.7	9,972.7	9,774.6	▲ 198.1
鉄鋼業	164.0	193.0	29.0	182.0	263.3	81.3	533.9	595.4	61.5
非鉄金属工業	317.3	200.6	▲ 116.7	495.5	433.8	▲ 61.7	570.6	813.6	243.0
金属製品工業	408.2	600.0	191.8	402.7	513.0	110.3	550.4	479.7	▲ 70.7
汎用機械工業	347.7	275.2	▲ 72.5	284.3	308.9	24.6	127.2	260.7	133.5
生産用機械工業	335.7	607.7	272.0	369.5	514.2	144.7	601.0	806.7	205.7
業務用機械工業	335.5	511.9	176.4	366.4	374.1	7.7	454.6	333.3	▲ 121.3
電子部品・デバイス工業	262.0	365.4	103.4	304.2	304.2	0.0	334.6	206.7	▲ 127.9
電気機械工業	1,257.7	1,139.7	▲ 118.0	955.7	899.6	▲ 56.1	793.9	1,266.2	472.3
情報通信機械工業	874.5	167.6	▲ 706.9	1,140.8	214.0	▲ 926.8	798.5	0.0	▲ 798.5
輸送機械工業	1,916.5	1,447.2	▲ 469.3	2,092.9	1,854.5	▲ 238.4	1,290.4	1,106.7	▲ 183.7
窯業・土石製品工業	201.0	255.9	54.9	155.8	186.6	30.8	426.8	319.5	▲ 107.3
化学工業	954.8	745.5	▲ 209.3	774.7	743.1	▲ 31.6	536.5	805.2	268.7
プラスチック製品工業	690.9	625.8	▲ 65.1	597.2	599.9	2.7	1,349.9	906.8	▲ 443.1
パルプ・紙・紙加工品工業	238.9	315.4	76.5	227.7	268.3	40.6	168.5	334.8	166.3
食料品・たばこ工業	1,082.6	1,889.2	806.6	1,161.1	1,946.2	785.1	513.4	804.9	291.5
その他工業	591.9	641.4	49.5	476.0	564.5	88.5	922.5	734.4	▲ 188.1
繊維工業	69.0	43.9	▲ 25.1	57.7	46.7	▲ 11.0	262.9	131.5	▲ 131.4
木材・木製品工業	55.6	31.2	▲ 24.4	62.9	56.7	▲ 6.2	93.3	0.0	▲ 93.3
家具工業	34.1	60.9	26.8	38.4	58.3	19.9	56.0	40.0	▲ 16.0
印刷業	72.9	83.8	10.9	58.3	67.4	9.1	0.0	0.0	0.0
石油・石炭製品工業	0.0	18.6	18.6	0.0	24.5	24.5	0.0	0.0	0.0
ゴム製品工業	290.7	261.6	▲ 29.1	204.3	196.1	▲ 8.2	414.0	318.8	▲ 95.2
皮革製品工業	3.8	4.5	0.7	3.3	3.2	▲ 0.1	14.5	7.3	▲ 7.2
その他製品工業	65.8	136.9	71.1	51.1	111.6	60.5	81.8	236.8	155.0
鉱業	20.8	18.5	▲ 2.3	13.5	11.8	▲ 1.7	27.3	225.4	198.1

鉱工業指数における季節調整法の適用について

1 手法

平成 27(2015)年基準鉱工業指数における季節調整は、米国センサス局の X-12-ARIMA (version0.2.10)を用いて実施した。

季節調整済指数は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因、うるう年要因によっても調整されている（在庫・在庫率指数については、季節要因のみ）。具体的には以下のとおり。

$$\text{季節調整済指数} = \text{原指数} \div (\text{季節} \cdot \text{曜日} \cdot \text{祝祭日} \cdot \text{うるう年指数})$$

2 X-12-ARIMA に用いるスペックファイル

平成 27(2015)年基準改定時に使用したスペックファイルの見本は以下のとおり。

```
series { start = YYYY.M
        span = (2010.1,2017.12)
        decimals = 1 }
transform { function = log }
arima { model = (0 1 1)(0 1 1) }
regression { variables = (td1nolpyear lpyear)
            save = (td hol)
            user = (jap-hol)
            usertype = holiday
            start = YYYY.M
            file = "xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx" }
forecast { maxlead = 12 }
estimate { save = ( mdl )
          maxiter = 500 }
x11 { print = (none + d10 +d11 +d16)
     save = (d10 d11 d16)
     seasonalma=x11default }
```

生産	(011) (011)
出荷	(011) (011)
在庫	(010) (011)
在庫率	(011) (011)

在庫・在庫率指数の場合は
regression の { } 内を削除

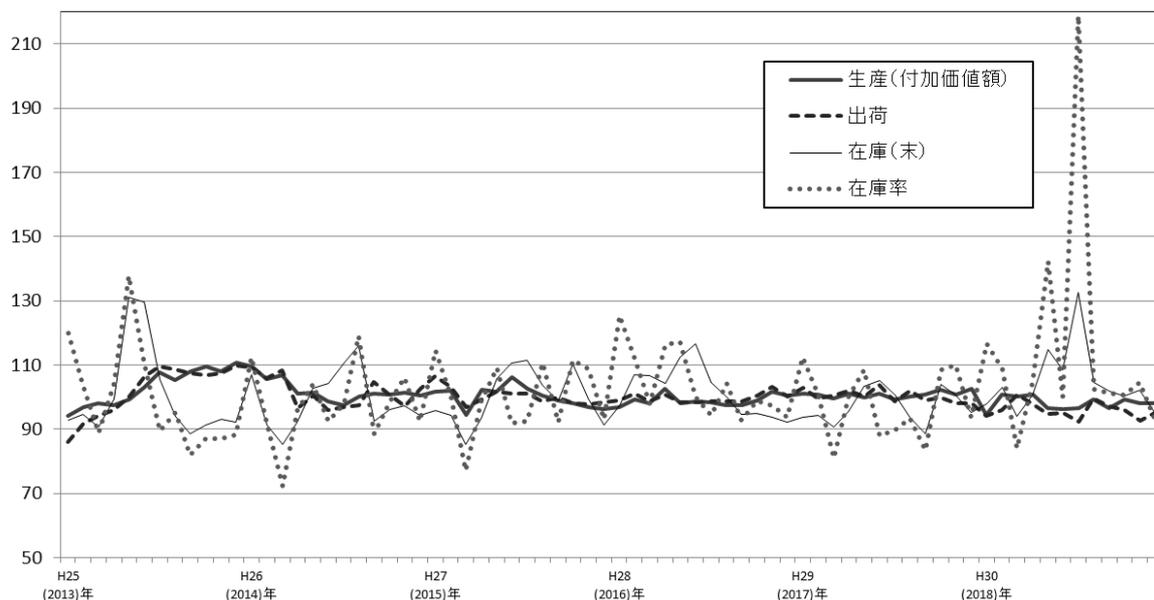
3 季節指数等の運用

平成 30(2018)年1月以降の季節指数は、暫定季節調整方式を採用している。具体的には、平成 29(2017)年の季節指数を適用している。

これに対し、曜日・祝祭日・うるう年指数は、暫定方式を採らず、上記2で推計されたパラメータとカレンダーから計算して利用している。

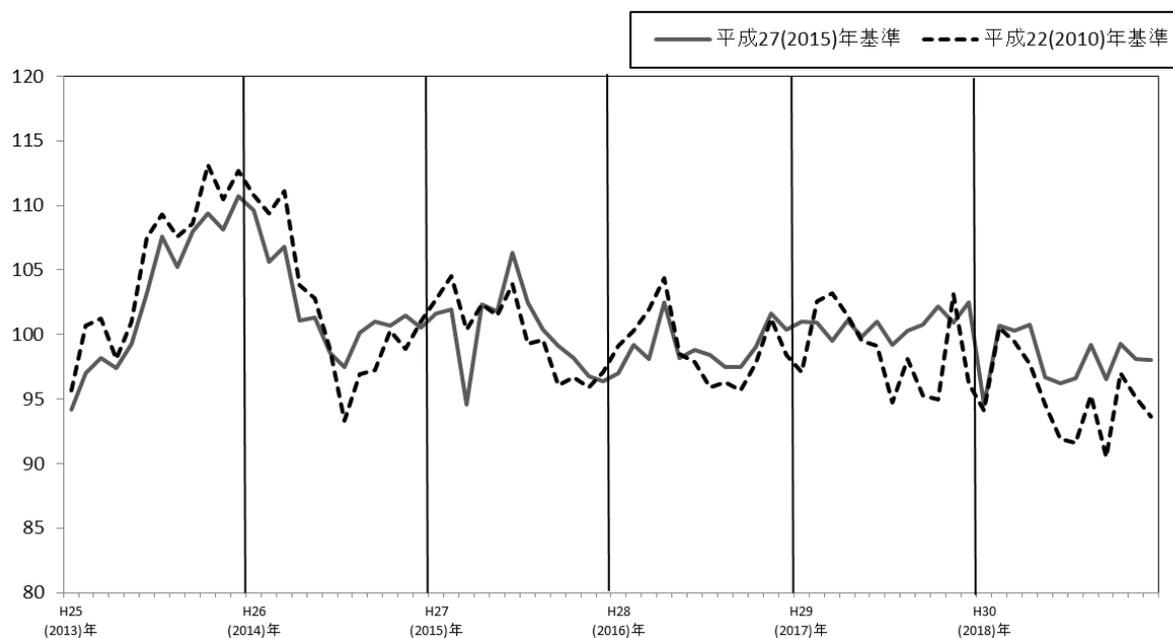
平成27(2015)年基準鉱工業指数

生産・出荷・在庫・在庫率指数の動向(季節調整済)



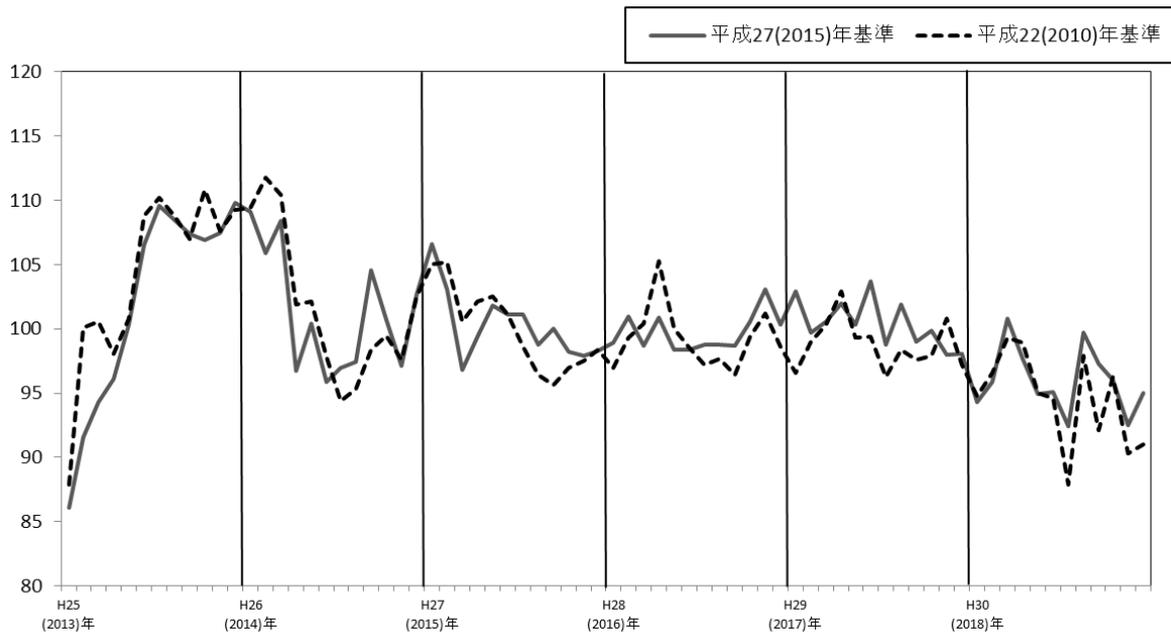
指数の新旧比較(注)

生産指数(付加価値ウエイト)(季節調整済)



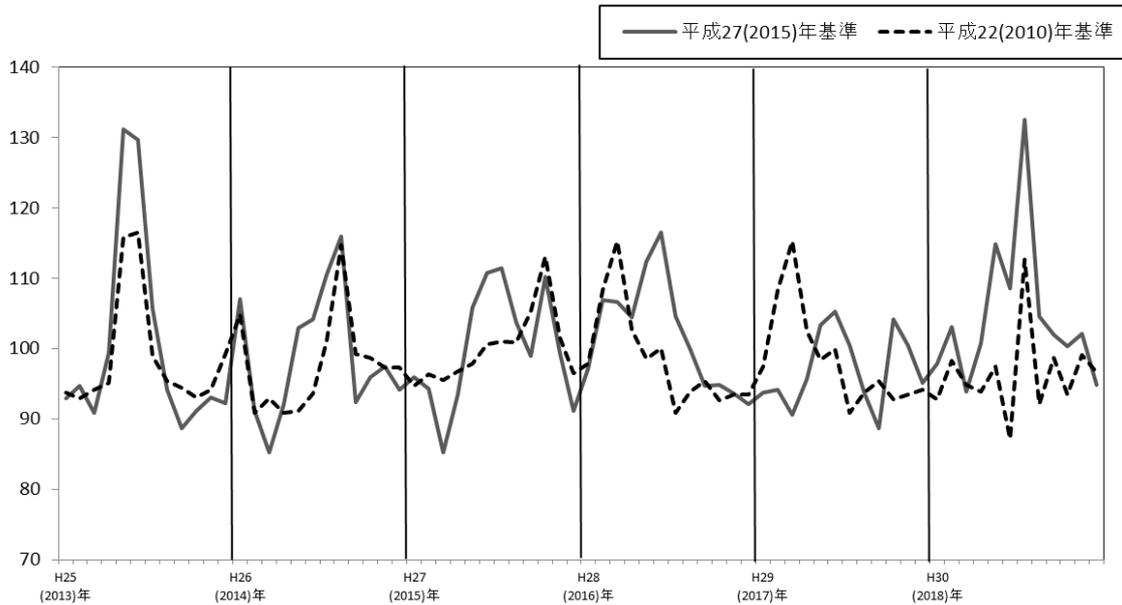
(注) 比較のため、平成22(2010)年基準指数は、平成27(2015)年=100.0に換算している。

出荷指数（季節調整済）



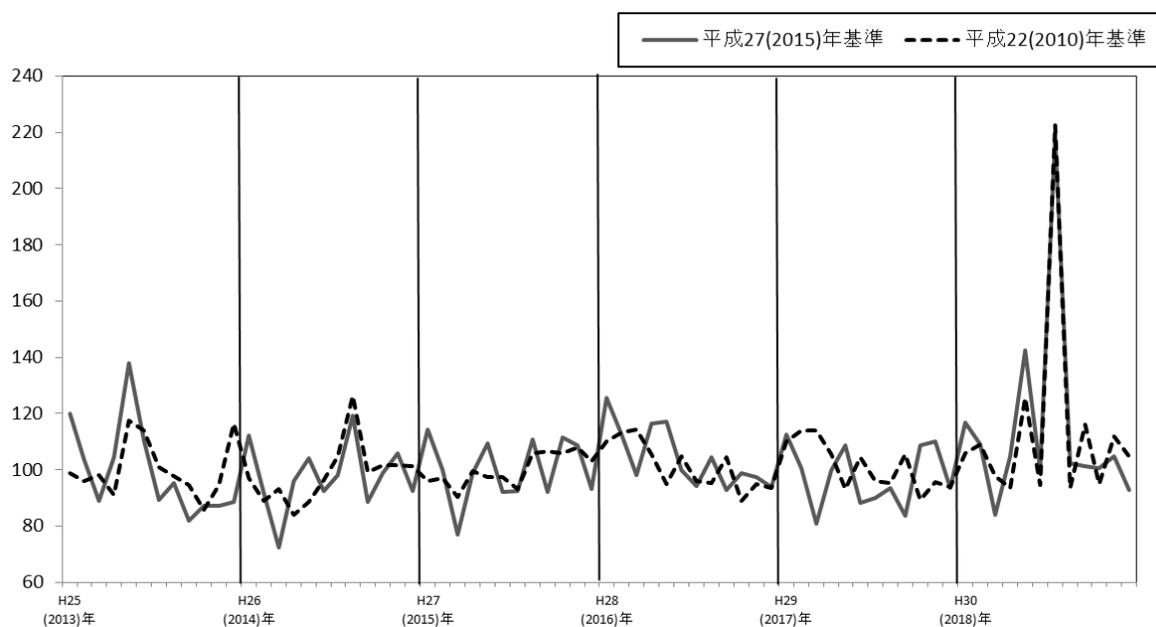
(注) 比較のため、平成 22(2010)年基準指数は、平成 27(2015)年=100.0 に換算している。

在庫指数（季節調整済）



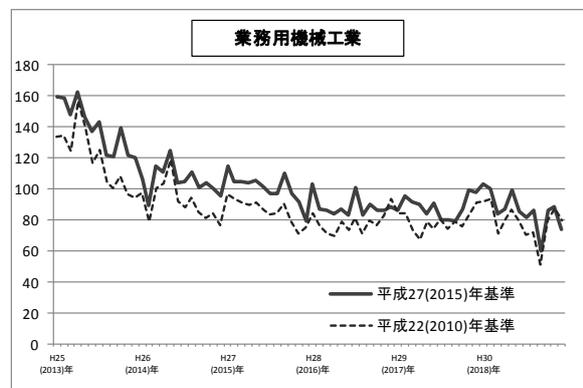
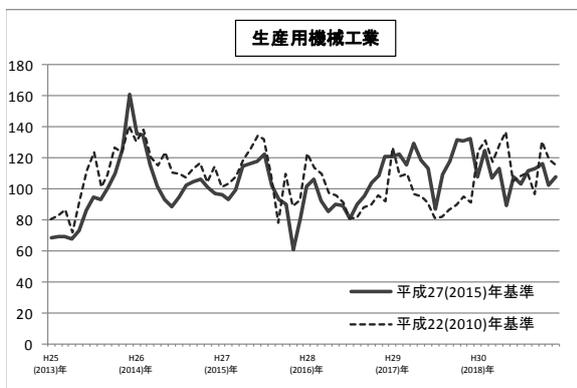
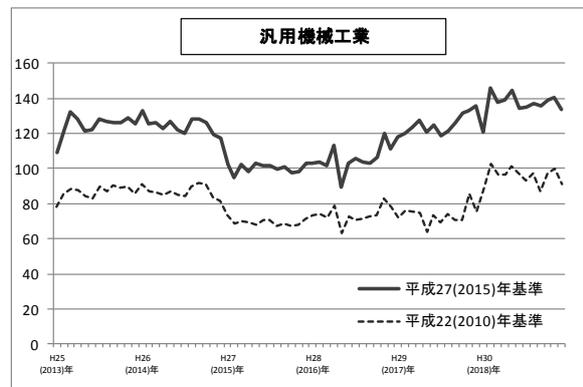
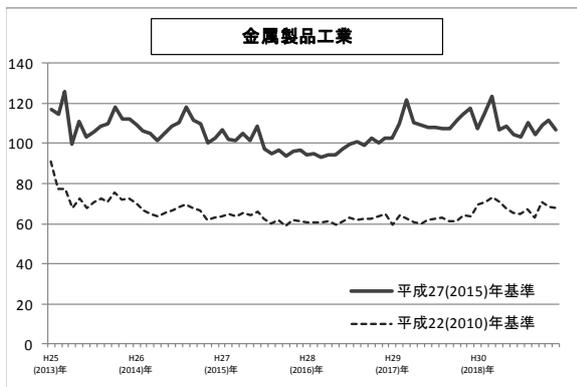
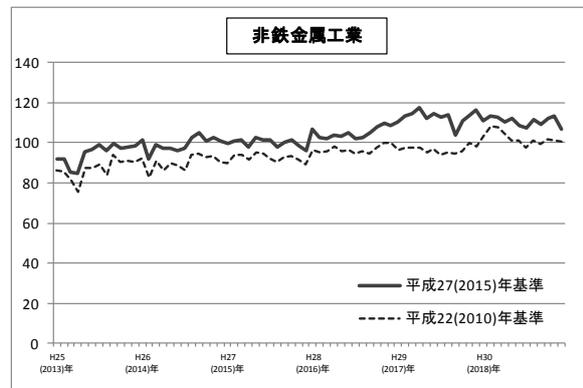
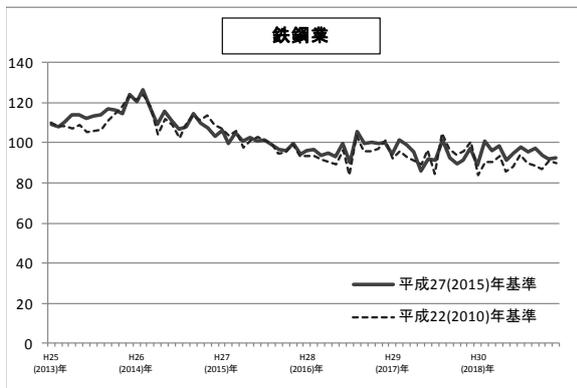
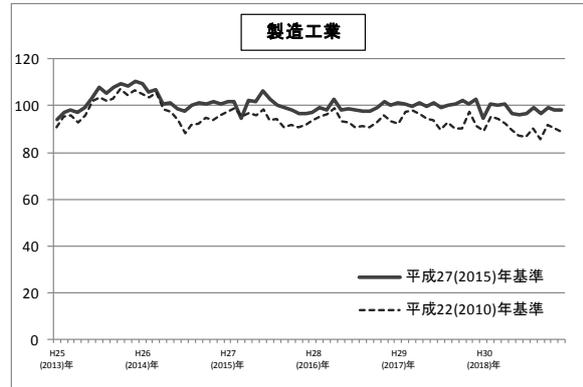
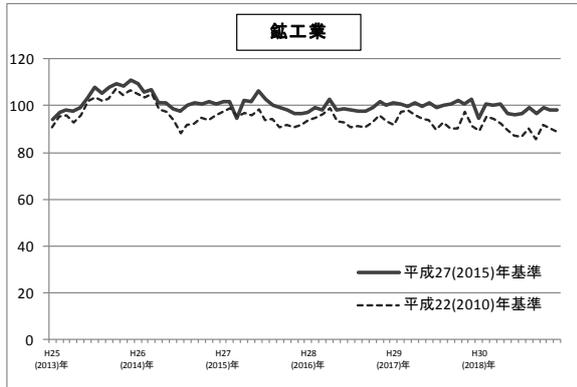
(注) 比較のため、平成 22(2010)年基準指数は、平成 27(2015)年=100.0 に換算している。

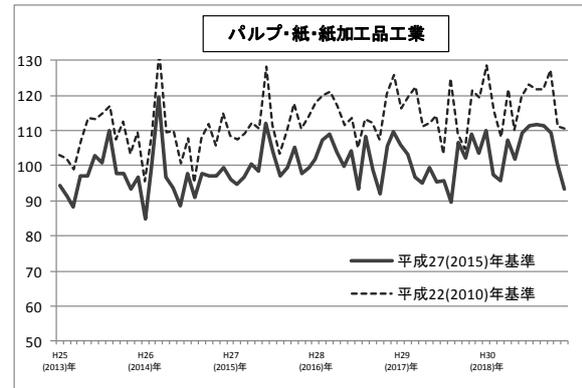
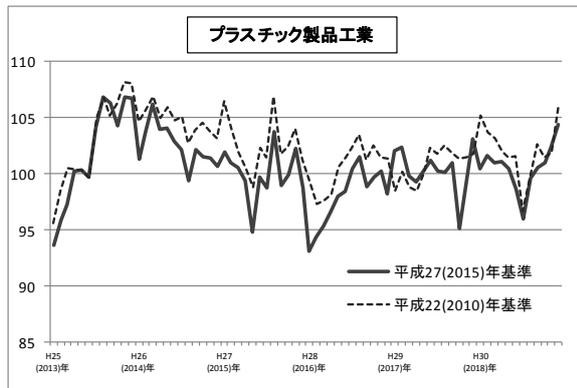
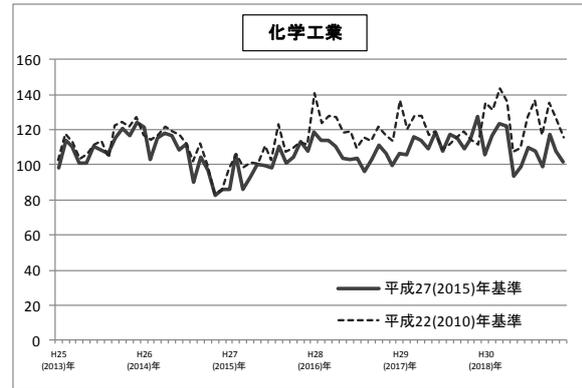
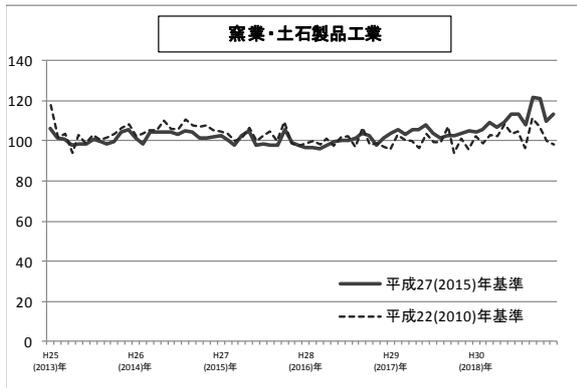
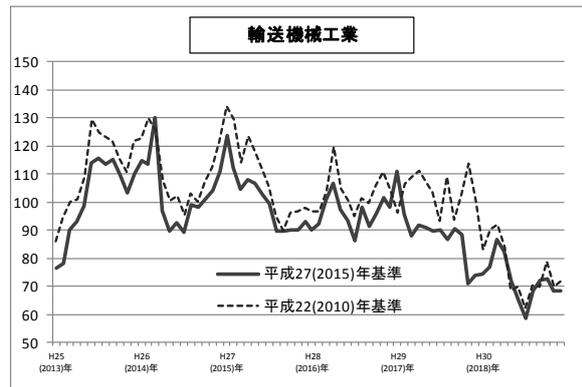
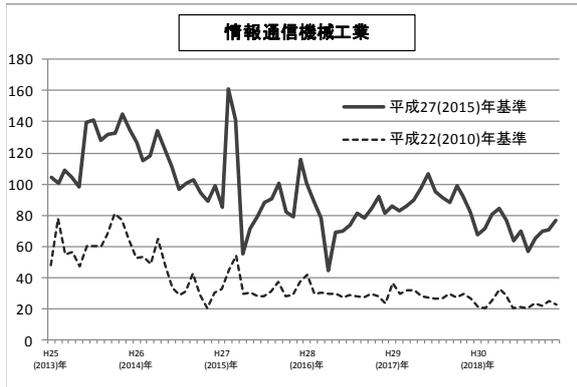
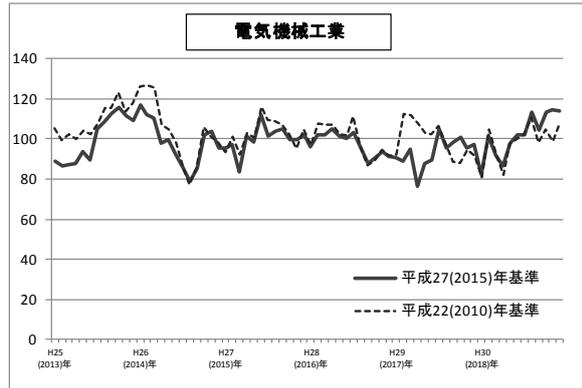
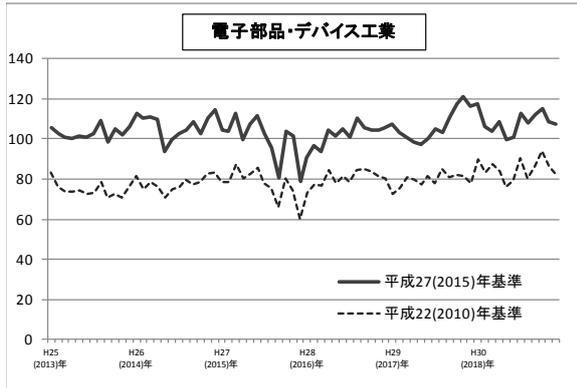
在庫率指数（季節調整済）

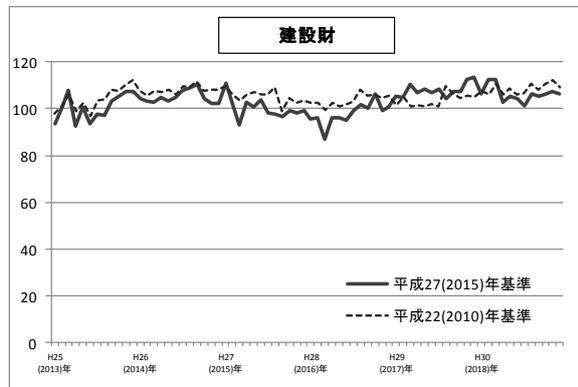
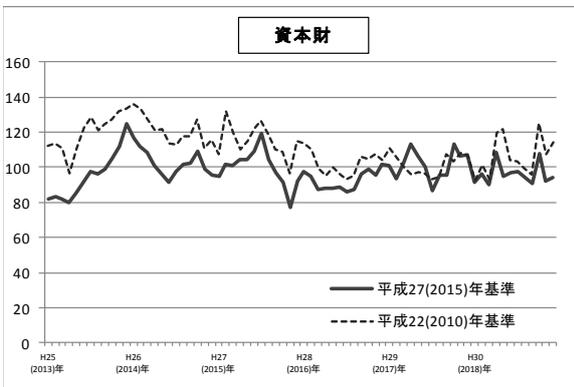
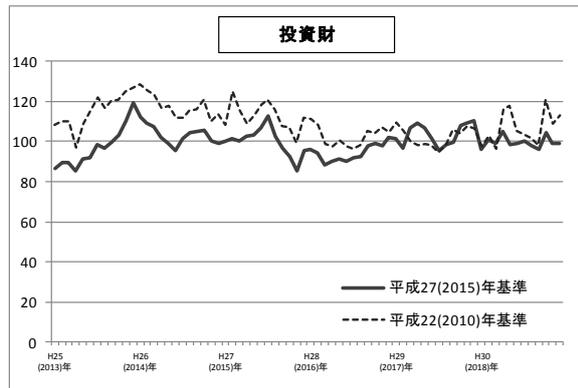
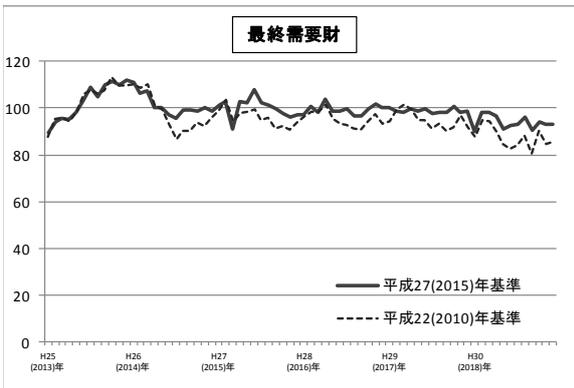
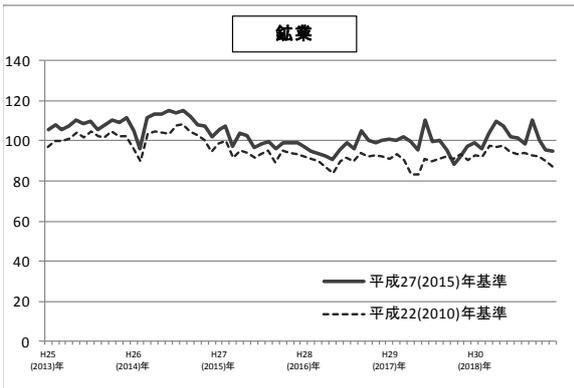
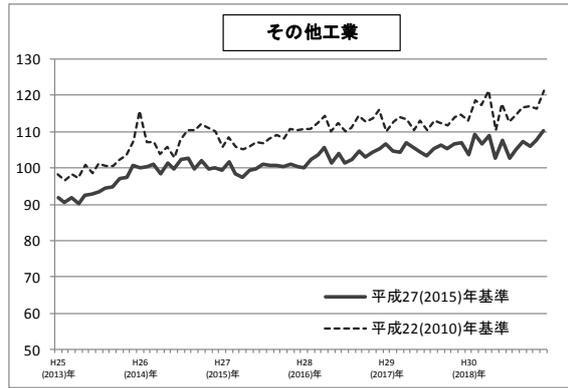
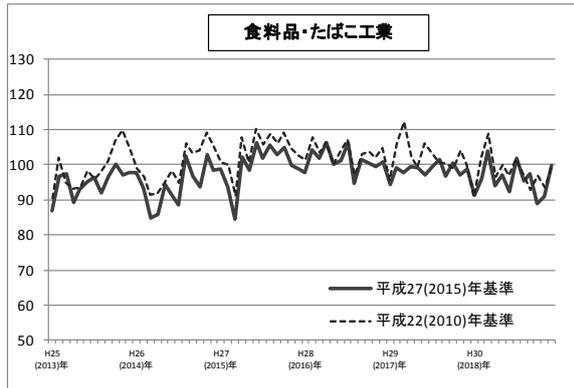


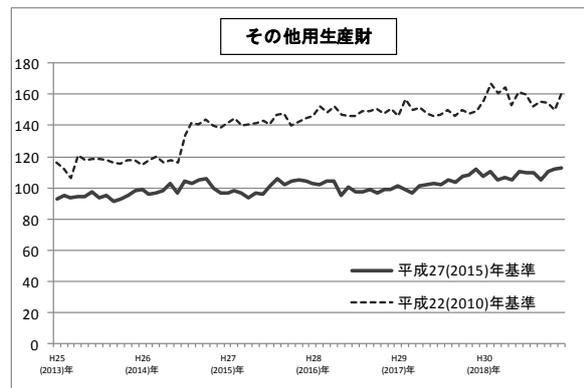
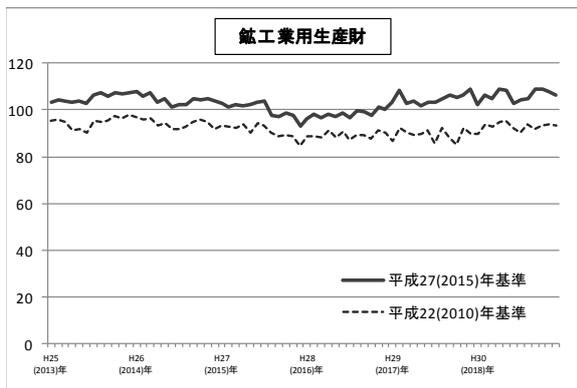
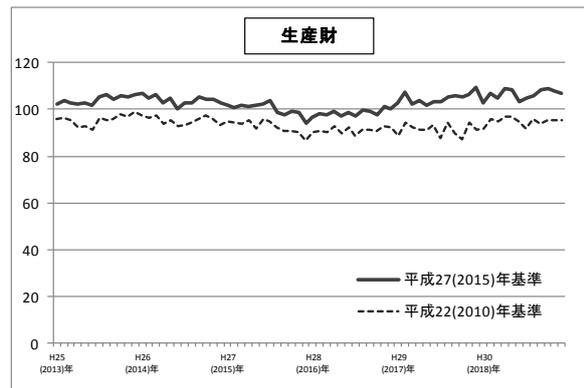
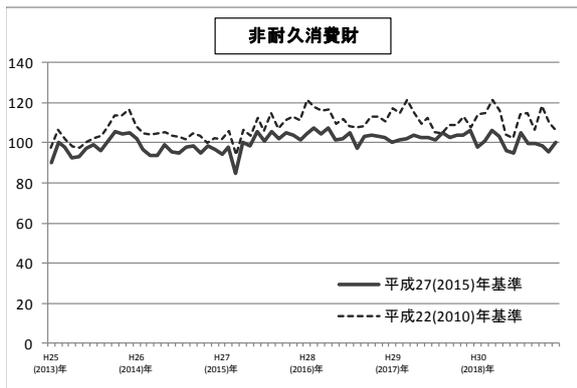
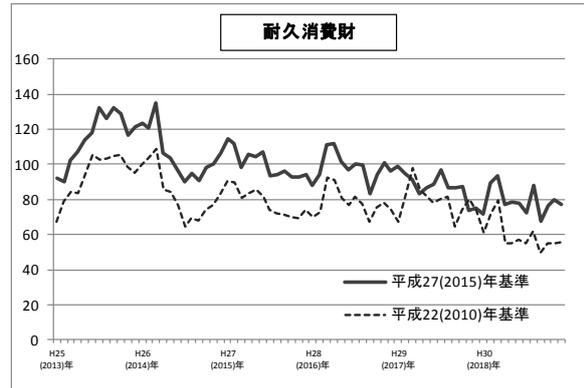
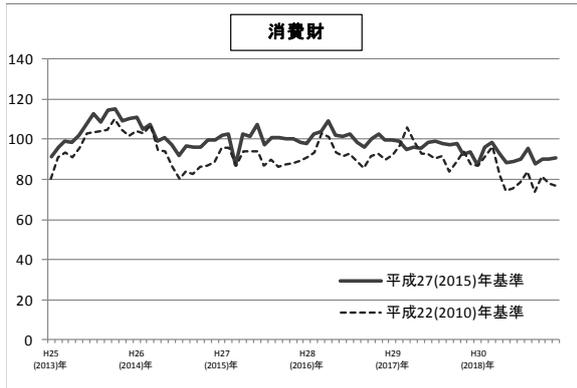
(注) 比較のため、平成 22(2010)年基準指数は、平成 27(2015)年=100.0 に換算している。

業種別・財別指数の新旧比較（生産指数（付加価値額ウエイト））（季節調整済）









指数増減率の新旧比較 (生産・出荷・在庫・在庫率指数)

	生産(付加価値額ウエイト)				出荷				在庫(末)				在庫率			
	指数値		伸比率		指数値		伸比率		指数値		伸比率		指数値		伸比率	
	27年基準 平成27年 =100	22年基準 平成22年 =100														
原指数																
平成																
25(2013)年	103.3	100.1			102.4	98.8			92.3	105.2			99.5	126.0		
26(2014)年	101.8	96.4	▲1.5	▲3.7	101.2	95.9	▲1.2	▲2.9	94.2	105.0	2.1	▲0.2	97.6	124.2	▲1.9	▲1.4
27(2015)年	100.0	94.6	▲1.8	▲1.9	100.0	94.2	▲1.2	▲1.8	91.2	104.0	▲3.2	▲1.0	100.0	125.9	2.5	1.4
28(2016)年	98.8	93.6	▲1.2	▲1.1	99.2	93.4	▲0.8	▲0.8	92.1	99.0	1.0	▲4.8	104.2	127.0	4.2	0.9
29(2017)年	100.8	93.6	2.0	0.0	100.6	93.1	1.4	▲0.3	95.1	101.3	3.3	2.3	97.5	121.9	▲6.4	▲4.0
30(2018)年	98.1	90.2	▲2.7	▲3.6	96.1	89.3	▲4.5	▲4.1	94.8	101.6	▲0.3	0.3	114.8	143.6	17.7	17.8
平成																
25(2013)年度	106.1	102.9			106.7	102.5			85.2	98.5			96.5	124.1		
26(2014)年度	100.1	94.9	▲5.7	▲7.8	100.1	94.6	▲6.2	▲7.7	85.2	99.5	0.0	1.0	98.9	124.1	2.5	0.0
27(2015)年度	99.9	94.7	▲0.2	▲0.2	99.3	93.3	▲0.8	▲1.4	106.6	122.3	25.1	22.9	103.7	132.2	4.9	6.5
28(2016)年度	99.5	93.6	▲0.4	▲1.2	100.0	93.9	▲0.7	0.6	90.6	99.9	▲15.0	▲18.3	100.8	122.1	▲2.8	▲7.6
29(2017)年度	100.2	92.7	0.7	▲1.0	99.5	92.1	▲0.5	▲1.9	93.9	100.6	3.6	0.7	98.8	124.4	▲2.0	1.9
季節調整指数																
平成25																
(2013)年																
I	96.5	93.9			90.7	90.8			90.8	108.8			104.1	122.6		
II	100.0	96.8	3.6	3.1	101.0	96.8	11.4	6.6	129.6	134.8	42.7	23.9	117.5	135.1	12.9	10.2
III	106.9	102.8	6.9	6.2	108.5	102.6	7.4	6.0	88.7	109.2	▲31.6	▲19.0	88.9	122.8	▲24.3	▲9.1
IV	109.4	106.2	2.3	3.3	108.1	103.1	▲0.4	0.5	92.3	114.7	4.1	5.0	87.6	124.1	▲1.5	1.1
平成26																
(2014)年																
I	107.3	104.6	▲1.9	▲1.5	107.8	104.3	▲0.3	1.2	85.2	107.5	▲7.7	▲6.3	92.1	116.8	5.1	▲5.9
II	100.3	96.4	▲6.5	▲7.8	97.7	95.0	▲9.4	▲8.9	104.2	108.3	22.3	0.7	97.4	112.5	5.8	▲3.7
III	99.5	90.8	▲0.8	▲5.8	99.7	90.7	2.0	▲4.5	92.4	114.8	▲11.3	6.0	101.9	138.1	4.6	22.8
IV	100.9	94.8	1.4	4.4	100.2	94.3	0.5	4.0	94.2	112.6	1.9	▲1.9	99.0	127.4	▲2.8	▲7.7
平成27																
(2015)年																
I	99.4	97.1	▲1.5	2.4	102.2	97.8	2.0	3.7	85.2	110.5	▲9.6	▲1.9	97.1	118.6	▲1.9	▲6.9
II	103.5	97.1	4.1	0.0	100.8	96.2	▲1.4	▲1.6	110.7	116.4	29.9	5.3	100.0	123.2	3.0	3.9
III	100.7	93.1	▲2.7	▲4.1	100.0	91.4	▲0.8	▲5.0	98.9	121.8	▲10.7	4.6	98.4	128.0	▲1.6	3.9
IV	97.1	91.5	▲3.6	▲1.7	98.1	92.2	▲1.9	0.9	91.2	111.6	▲7.8	▲8.4	104.4	132.7	6.1	3.7
平成28																
(2016)年																
I	98.1	95.1	1.0	3.9	99.5	93.4	1.4	1.3	106.6	133.4	16.9	19.5	112.0	141.3	7.3	6.5
II	99.8	95.0	1.7	▲0.1	99.2	95.6	▲0.3	2.4	116.5	115.7	9.3	▲13.3	111.2	127.7	▲0.7	▲9.6
III	97.8	90.9	▲2.0	▲4.3	98.8	91.7	0.4	▲4.1	94.7	110.3	▲18.7	▲7.0	97.2	123.8	▲12.6	▲3.1
IV	103.3	93.9	2.6	3.3	101.3	94.1	2.5	2.6	92.1	108.2	▲2.7	▲1.9	96.7	116.2	▲0.5	▲5.1
平成29																
(2017)年																
I	100.5	95.6	0.2	1.8	101.1	93.1	▲0.2	▲1.1	90.6	133.4	▲1.6	23.9	98.0	141.5	1.3	21.8
II	100.6	94.7	0.1	▲0.9	102.0	94.9	0.9	1.9	105.2	115.6	16.1	▲13.3	98.9	126.9	0.9	▲10.3
III	100.1	91.0	▲0.5	▲3.9	99.9	92.0	▲2.1	▲3.1	88.7	110.3	▲15.7	▲4.6	88.9	124.2	▲10.1	▲2.1
IV	101.9	92.9	1.8	2.1	98.7	93.1	▲1.2	1.2	95.1	108.8	7.2	▲1.4	104.1	116.7	17.1	▲6.0
平成30																
(2018)年																
I	98.5	92.8	▲3.3	▲0.1	97.0	91.5	▲1.7	▲1.7	93.9	109.8	▲1.3	0.9	103.2	130.9	▲0.9	12.2
II	97.9	89.7	▲0.6	▲3.3	95.9	90.8	▲1.1	▲0.8	108.6	100.9	15.7	▲8.1	115.7	131.3	12.1	0.3
III	97.4	87.6	▲0.5	▲2.3	96.5	87.4	0.6	▲3.7	101.9	114.2	▲6.2	13.2	140.9	180.9	21.8	37.8
IV	98.5	90.2	1.1	3.0	94.5	87.3	▲2.1	▲0.1	94.8	111.7	▲7.0	▲2.2	99.4	130.5	▲29.5	▲27.9
平成25																
(2013)年																
1月	94.2	90.6			86.1	83.0			92.9	108.5			120.0	124.0		
2月	97.0	95.4	3.0	5.3	91.6	94.5	6.4	13.9	94.7	107.5	1.9	▲0.9	103.6	120.7	▲13.7	▲2.7
3月	98.2	95.8	1.2	0.4	94.3	95.0	2.9	0.5	90.8	108.8	▲4.1	1.2	88.8	123.0	▲14.3	1.9
4月	97.4	92.9	▲0.8	▲3.0	96.1	92.6	1.9	▲2.5	99.4	110.0	9.5	1.1	104.4	114.2	17.6	▲7.2
5月	99.3	95.7	2.0	3.0	100.3	95.2	4.4	2.8	131.1	133.9	31.9	21.7	137.8	147.7	32.0	29.3
6月	103.2	101.6	3.9	6.4	106.5	102.7	6.2	7.9	129.6	134.2	▲1.1	0.7	110.4	143.3	▲19.9	▲20.7
7月	107.6	103.6	4.3	1.7	109.6	104.0	2.9	1.3	105.6	114.5	▲18.5	▲15.1	89.4	126.7	▲19.0	▲11.6
8月	105.2	101.9	▲2.2	▲1.5	108.5	102.7	▲1.0	▲1.3	94.1	110.4	▲10.9	▲3.6	95.3	122.8	6.6	▲3.1
9月	108.0	102.9	2.7	1.0	107.4	101.0	▲1.0	▲1.7	88.7	109.2	▲5.7	▲1.1	81.9	118.8	▲14.1	▲3.3
10月	109.4	107.1	1.3	4.1	106.9	104.6	▲0.5	3.6	91.2	107.7	2.8	▲1.4	87.2	107.7	6.5	▲9.3
11月	108.1	104.7	▲1.2	▲2.2	107.5	101.6	0.6	▲2.9	93.0	108.9	2.0	1.1	87.2	118.6	0.0	10.1
12月	110.7	106.7	2.4	1.9	109.8	103.2	2.1	1.6	92.3	114.7	▲0.8	5.3	88.4	146.1	1.4	23.2
平成26																
(2014)年																
1月	109.6	104.9	▲1.0	▲1.7	109.1	103.3	▲0.6	0.1	107.1	121.3	16.0	5.8	112.3	121.9	27.0	▲16.6
2月	105.6	103.6	▲3.6	▲1.2	105.9	105.5	▲2.9	2.1	91.2	105.0	▲14.8	▲13.4	91.6	111.7	▲18.4	▲8.4
3月	106.8	105.2	1.1	1.5	108.4	104.2	2.4	▲1.2	85.2	107.5	▲6.6	2.4	72.4	116.9	▲21.0	4.7
4月	101.1	98.3	▲5.3	▲6.6	96.7	96.2	▲10.8	▲7.7	92.1	105.1	8.1	▲2.2	95.9	105.5	32.5	▲9.8
5月	101.3	97.4	0.2	▲0.9	100.4	96.4	3.8	0.2	102.9	105.4	11.7	0.3	103.9	111.0	8.3	5.2
6月	98.6	93.6	▲2.7	▲3.9	95.9	92.3	▲4.5	▲3.3	104.2	108.3	6.3	2.8	92.5	121.1	▲11.0	9.1
7月	97.5	88.4	▲1.1	▲5.6	97.0	89.1	1.1	▲3.5	110.5	116.9	1.0	7.8	98.0	131.4	5.9	8.5
8月	100.1	91.6	2.7	3.8	97.4	90.6	0.4	1.9	106.0	132.7	5.0	3.6	119.1	158.6	21.5	20.7
9月	101.0	92.1	0.9	0.3	104.6	92.9	9.4	3.2	92.4	114.8	▲20.3	▲13.5	88.5	124.4	▲25.7	▲21.6
10月	100.7	95.0	▲0.3	3.1	100.7	93.9	▲3.7	▲1.1	96.0	114.2	3.9	▲0.5	98.6	127.6	11.4	2.6
11月	101.5	93.7	0.8	▲1.4	97.1	92.1	▲3.6	▲1.9	97.4	112.5	1.5	▲1.5	106.0	127.5	7.5	▲0.1
12月	100.5	95.7	▲1.0	2.1	102.7	96.8	5.8	5.1	94.2	112.6	▲3.3	0.1	92.5	127.0	▲12.7	▲0.4
平成27																
(2015)年																
1月	101.6	97.3	1.1	1.7	106.6	99.1										